

# 限りある救急車の適正利用を！

近年、救急車の出動件数、搬送人員数はともに増えており、救急隊が現場に到着するまでの時間も遅くなっています。また、救急車で搬送された約半数の方が入院を必要としない軽症という現状でもあります。

限りある救急車を有効に活用することで、一刻も早く治療を受けることが必要な人の命を救えることができます。

緊急性がなく、ご自身で病院に行ける場合は交通機関を利用するなど救急車の適正利用にご協力をお願いいたします。

救急車を呼ぶべきか、様子を見るべきか迷ったら  
下記の救急電話相談窓口へ



救急安心センターやまなし（365日24時間）  
#7119（県内プッシュ回線 携帯電話）  
055-223-1418（ダイヤル回線から）



小児救急電話相談（夜間・休日）  
#8000（県内プッシュ回線 携帯電話）  
055-226-3369（ダイヤル回線から）

休日・夜間に診療可能な診療所や救急病院などに関する電話でのお問い合わせに対して、24時間体制で御案内いたします。

山梨県救急医療情報センター 055-224-4199

山梨県東部消防指令センター  
（都留市・大月市・上野原市） 0554-45-0119



医療情報ネット  
山梨県の病院・診療所・歯科診療所・助産所・薬局を  
探す

# ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

重大な病気やけがの可能性がります!

こんなときにはすぐに119番!!

**顔**

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

**おとな**

**頭**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

**胸や背中**

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

**おなか**

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

**手足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

**子ども (15歳以下)**

**顔**

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

**頭**

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

**胸**

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

**おなか**

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

**手足**

- 手足が硬直している

**意識の障害**

- 意識がない (返事がない) またはおかしい (もうろうとしている)
- ぐったりしている

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

**事故**

- 交通事故にあった (強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

**意識の障害**

- 意識がない (返事がない) またはおかしい (もうろうとしている)

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**飲み込み**

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

**じんましん**

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

**やけど**

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

**事故**

- 交通事故にあった (強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

**生まれて3か月未満の乳児**

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

※発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談しましょう。(特に、妊婦や基礎疾患がある方については、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。)

※さらに、判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口( # 7119等)にご相談下さい。

※小学生以下の子どもで、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来/かかりつけ医/地域外来・検査センターを受診しましょう。

※さらに、判断に迷った時は、お近くの電話相談窓口にご相談下さい。子ども医療電話相談(主に休日・夜間)は#8000、119番通報の相談は#7119をご利用いただけます。

救急車が来るまでに、用意しておく便利なもの。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)

乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル

救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故の状況や体調が悪くなってから救急隊が到着するまでの様子やその変化
- おこなった応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報
  - 持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など
- 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくとう便利です。

○本資料は、緊急度が高い(赤に該当)ことが予測され、すぐに救急車を呼んでほしい症状のうち、特に知ってほしい症状をまとめています。

○ここに記載がない症状等については、救急受診ガイド2014年版をご覧ください。

○救急受診ガイド2014年版は左ページの2次元バーコードまたは、消防庁ホームページへアクセスしてください。

○緊急度とは軽微な症状を示す赤、黄、緑に分類し、医療機関を受診するための手段と受診する目安を示したものです。

【赤】救急車を呼びましょう

【黄】今すぐに医療機関を受診しましょう

【緑】医療機関を受診しましょう

(平成27年3月発行)